



【山口尚人（やまぐちひさと）】 管楽コース（トロンボーン） 准教授

新日本フィルハーモニー交響楽団副首席トロンボーン奏者/作編曲家

佐賀県出身、東京芸術大学音楽学部器楽科トロンボーン専攻卒業。在学中より各地の新人演奏会などに出演。また芸大吹奏楽学内演奏会にてコンチェルトを共演。在学中の1997年に東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に入団。2000年に新日本フィルハーモニー交響楽団へ移籍し副首席トロンボーン奏者を務めるほか、ズーラシアンブラスのメンバーとしても2005年から17年活動して現在はズーラシアンブラスの音楽アドバイザーを勤める。1999年には佐賀銀行文化財団新人賞を、2000年には日本管打楽器コンクールトロンボーン部門にて第3位を受賞。2010年、2017年には新日本フィルでコンチェルトを共演した。これまでにトロンボーンを坂本辰則、村岡淳志、古賀慎治、伊藤清の各氏に師事。

作編曲家としてはシエナウインドオーケストラの小編成作品のアレンジから活動をスタートし、2006年より契約作編曲家としてズーラシアンブラスシリーズをはじめとした室内楽や吹奏楽・管弦楽の作品を発表しながら、在籍する新日本フィルをはじめ、東京佼成ウインドオーケストラ、シエナウインドオーケストラなどを中心に演奏されている。日テレ「オケ旅」(2023)、「D×WEST」(2024)の編曲を担当。作曲作品としては2012年に東京佼成ウインドオーケストラの委嘱作品として初演されたトロンボーン協奏曲「Four Inspirations」(玉木優、イアン・バウスフィールド)を第一作として、その後スーパーキッズより「テールゲート・キング」「応仁の乱 NEXT」「チチヌユーの風〜7月8日〜」など数多くの作品を発表。それぞれの団体のCDに収録されている。トロンボーン作品としては「クリーブランド組曲」、「絆〜DEAR FRIENDS」(マッシモ・ラ・ローサ&杉山康人が初演)、「Pathetique」「TROMBONE SONATA (仮題)」(高瀬新太郎初演)などがある。

また、コロナ禍でのリモート演奏が話題となったことから、その後映像作品やVRなどのプロジェクトなどに参加。KDDI「音のVR」(2020)、キャノン/ビクターケンウッド「XR ボレロ」の編曲とディレクションなどを担当。また東京芸術劇場「第20回子どもたちと芸術家の出会う街」の演出・脚本を担当。